

授業科目名： 地域研究の理論と方法		担当教員名： 陳柏宇、穆堯芋、李春霞、シヤクダル・エンクバヤル、中島朋義、新井洋史、三村光弘、中島厚志	
選択必修： 選択	単位数： 2	開講学期： 前期	開講言語： 日本語（一部英語）
○Aim of this class and themes; 授業の到達目標及びテーマ <p>この授業では、多岐にわたる視点や複合的な研究分野から地域経済、地域内関係、地域間関係について学びます。対象地域の事情に対する理解を総合的に深めることが期待されます。</p>			
○授業の概要 <p>地域研究は、政治や経済だけでなく、その地域の歴史、文化、言語、グローバル化などを幅広く対象とします。地域研究を進めるためには、地域発展や関係に関する基本要因、さまざまな政策の意思決定・政策決定プロセスを分析することが必要です。理論に加えて事例研究やフィールドワークといった方法論も重視されます。</p>			
○授業の方法 <p>各授業の前に指定された資料をよく読んでください。積極な姿勢でディスカッションに参加することが期待されます。</p>			
○Class schedule; 授業計画 <p>第1回 陳&穆 4/8 授業紹介</p> <p>第2回～第5回 穆 大国の地域経済と都市の成長：各地域に渡り、諸大国を事例として考察する。 4/15 超大国アメリカの地域経済の成長と構造 4/22 地域一体化を目指す中国 5/9 東京一極集中への対応を迫られる日本 5/13 EUの都市問題とエネルギー戦略</p> <p>教科書： 穆堯芋・新井洋史『大国のなかの地域経済－アメリカ・中国・日本・EU・ロシア』、日本評論社、2022年2月</p> <p>第6回～第7回 李 5/20 「中国の地域経済格差」</p> <p>中国は改革開放以降、経済が急成長し、世界第二の経済大国になった。一方、中国は深刻な格差を抱えている。中国の経済格差とその発生要因を学ぶ。</p> <p>5/27 「中国の知的財産戦略とイノベーション格差」</p> <p>近年、中国は経済発展のため、知的財産権戦略を実施し、イノベーションを推進している。中国で</p>			

はイノベーションの分野で、成果を遂げたが、地域間のイノベーションの格差も発生した。授業では知的財産権戦略とイノベーション格差を取り上げる。

第8回～第10回 エンクバイヤル

Climate change is the most urgent challenge for humanity to address in the 21st century. These series of lectures will address the issues of the anthropogenic GHG emissions into the atmosphere that cause global warming and climate change and international responses to decarbonize the economies aimed at preventing dangerous level of climate change.

6/3 Climate Change and International Responses to Climate Change

Reading:

IPCC (2023). Summary for Policymakers. In: Climate Change 2023: Synthesis Report. Contribution of Working Groups I, II and III to the Sixth Assessment Report of the Intergovernmental Panel on Climate Change [Core Writing Team, H. Lee and J. Romero (eds.)]. IPCC, Geneva, Switzerland, pp. 1-34, doi: 10.59327/IPCC/AR6-9789291691647.001

7/1 Decarbonization and Net-ZERO policies in Northeast Asia

Readings:

Safonov, G. and Enkhbayar, Sh. (2017). Mitigation of Climate Change: The Breakthrough to Come from Northeast Asia. ERINA Booklet, Vol. 7, March 2017 (English) and Japanese translated by Nakamura T.

Enkhbayar Sh. (2015). Energy and Climate: Decarbonizing the Energy Supply in Northeast Asia, ERINA REPORT No.126, pp. 20-33

7/8 Introduction to the En-ROADS Climate Solutions Simulator (Role playing)

Reading: <https://www.climateinteractive.org/en-roads/>

*Note: Language of instruction: English

第11回～第12回 中島(朋)

6/10、6/17 「アジア太平洋地域における制度的経済統合の進展」

1997年のアジア通貨危機を契機として、東南アジア諸国連合（ASEAN）を基点として動きが始まったアジア太平洋地域における制度的経済統合について、これまでの流れを概観する。さらに2010年代以降顕著となった米中対立の深刻化、グローバルサウスの台頭といった状況の変化を織り込んで、地域の今後を展望する。

リーディング：片岡さおり『日本の地経学戦略ーアジア太平洋の新たな政治経済力学』2022年、日本経済新聞出版

第13回 新井

6/24 「広域的な政策課題に対する工学的アプローチ」

国際協力を必要とするような広域的な政策課題は社会科学や人文科学の分野の研究対象であるのみならず、工学的なアプローチも行われていることを学びます。事例として、ユーラシア大陸の物流シミュレーションモデルを使った分析を取り上げます。

リーディング：Ryuichi Shibasaki, Hirofumi Arai, Kentaro Nishimura. Impacts of Eurasian Transport Connectivity Enhancement on Russia. E3S Web Conf. 135 02001 (2019). DOI: 10.1051/e3sconf/201913502001

第14回 三村

7/17 「北朝鮮研究の方法論」

まず、北朝鮮を地域研究の対象としたときに、どのようなアプローチや方法論があるのかを概説します。その上で、経済や法を主たる関心分野としている研究者が、これまでどのような研究を行ってきたのかを紹介します。研究者の実践から、地域研究の醍醐味と限界について考えてみることにしたいと思います。

リーディング：三村光弘（2018）「変化期の北朝鮮経済研究の方法論を探る」『現代韓国朝鮮研究』18, pp. 13-24

<http://www.ackj.org/wp/wp-content/uploads/2018/11/%E5%A4%89%E5%8C%96%E6%9C%9F%E3%81%AE%E5%8C%97%E6%9C%9D%E9%AE%AE%E7%B5%8C%E6%B8%88%E7%A0%94%E7%A9%B6%E3%81%AE%E6%96%B9%E6%B3%95%E8%AB%96%E3%82%92%E6%8E%A2%E3%82%8B.pdf>

（リンクが切れている場合は、書誌情報を検索エンジンに入れて探して下さい）

第15回 中島（厚）

7/22 「世界経済の中での北東アジア経済の位置づけ」

ウクライナ戦争後の世界的物価高騰と欧米主要国での金融引締めにより、世界経済は減速している。加えて、米中対立も加わって世界経済の分断（Fragmentation）と deglobalization が懸念されている。北東アジア地域は、世界の工場、世界的消費市場である中国にとどまらず、世界への資源供給地でもあり、世界経済の減速、分断の正面にいる。授業では、北東アジア経済の世界経済動向の中における位置づけを見た上で、その重要性と今後世界経済に与える影響について考えていきたい。

リーディング：International Monetary Fund, “World Economic Outlook 2023 October -Navigating Global Divergences”の“Chapter 1. Global Prospects and Policies”と“Chapter 3. Fragmentation and Commodity Markets: Vulnerabilities and Risks”

○Textbook; テキスト

授業計画を参照

○Further reading; 参考書・参考資料等

○Grading; 学生に対する評価

各担当教員に提出したレポートに基づいて評価を行います。

○警戒レベル3以上の場合の授業形態について

【オンライン授業に切り替えた場合の授業形態】

授業形態: オンライン授業